# 蛸の怒り

（宇都久さんの話）

伊吹島の近くに人の住んでいない円上島がある。昔、わしと一緒に船に乗っとった者がおったんじゃが、大変なことがおこったんじゃ。円上島で、碇（船を留めておくために、ロープや鎖につけて、海底に沈めるおもり）をやるというて海に投げ込んだんじゃ。そしたらその人に熱が出てきたんじゃ。病院でみてもらっても原因が分からんし、熱もさがらんのじゃ。そこで祈祷師に来てもらって見てもらったら、大蛸の頭に碇をぶつけてしまったようなんじゃ。それで蛸が怒ってたたっているということだった。その人は、熱が出るだけでなく、体中蛸にすいつかれたようないぼが出ていたんじゃ。すごかった。あんなことがあるんやな。祈祷師にお払いしてもらったら治ったで。

（「観音寺の民話・昔話」より）